

—学校教育目標—

豊かな心をもち

自ら学ぶたくましい子

- (1)よく考えねばり強く学ぶ子
- (2)心豊かで思いやりのある子
- (3)すすんで体をきたえる元気な子

学校便り

第16号

仲井真っ子

H30年5月30日(水)

那覇市立

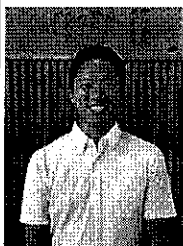
仲井真小学校

発行責任者

校長 宮里 寧

TEL 917-3330

仲井真っ子の活躍！！



30日(水)全体朝会で国場児童館館長の『山崎 新さん』がお話をしました。5月17日(木),児童館に女子高校生が助けを求めに来ました。近くの家から4歳の息子がいなくなったと、母親から助けを求められたとのことです。児童館の職員はどうしようと、慌てました。なぜなら、大人の職員は4人しかいません。その時、助けてくれたのが児童館に遊びに来ていた仲井真っ子たちです。「先生が子どもを探すのを手伝ってください」という声に、すぐに靴を脱いで玄関の前に30名集合したのです。夕方5時から6時過ぎまで、みんなで一斉に探しました。警察も動員する程の大搜索です。幸い、津嘉山シティーの警備員さんが無事保護してくれていたそうです。夜7時過ぎに児童館に助けを求めた母親がお礼に来られたそうです。館長さんは、仲井真っ子の助けに感動したけれど、最も感動したことは、30名の仲井真っ子たちが人目もはばからずに「〇〇ちゃん」「4歳の男の子をみかけませんでしたか」と大きな声で呼びかけたり、道行く大勢の人に声をかけていたことだとお話していました。困っている人のために、小さい命を救うために大声をあげて駆け回ってくれた仲井真っ子たちは、とても素晴らしいとお褒めの言葉をいただきました。この話を聞いた仲井真小全職員は大変うれしい気持ちになりました。このような仲井真っ子のよい面をさらに伸ばしていきたいです。

第1回表彰朝会(文化面)！



30日(水)の朝会の第一声。「皆さんに発表します。なんと、沖縄県の子どもが見事、全国一位に輝きました。なんだかわかりますか？『虫歯の数』です。」最初、子どもたちは拍手、しかし虫歯の数と聞いて、がっかり……。歯みがき習慣は、小さい時からの積み重ねが大切です。本校には、出生から6年まで虫歯がない児童が4名在籍しています。「歯と口の健康月間」に伴って、表彰をしました。『池城大輝(いけしろだいき)さん』、『野原颯真(のはらそうま)さん』、『大城泰清(おおしろたいせい)さん』、『町田宗睦(まちだむねちか)さん』です。続いて、「第56回母の日図画・作文コンクール」の表彰を行いました。受賞者は、『よぎ やまと』さん、『おおはまゆめな』さん、『つちやなのは』さん、『たまきともひろ』さん、『まえかわこたろう』さん、『おおしろりお』さん、『おおしろこうせい』さん、『みやぎほのか』さん、『よしだしおか』さん、『いとかずみらい』さん、『おおしろゆいね』さん、『すながわりあの』さん、『みむらももか』さん、『みやぎさくら』さん、『しまだりりな』さん、『たけうちあやか』さん、『へいあんざむつき』さん、『あらかきこうき』さん、『みやぎここね』さん、『なかむられいさ』さん、『しんざとひめ』さん、『ひのこはる』さん、2年生22名が優秀賞を受賞しました。おめでとうございます。

